



第2回学校評価の結果を受けて～結果及び改善策、学校としての方針等【その1】

保護者の皆様には、二学期末に第2回学校評価に回答いただき、ありがとうございました。児童、保護者、教職員による評価から、成果や課題が明確になりましたので、今後に向けての改善策や学校としての方針等をまとめました。詳しい結果につきましては、学校 Web ページのトップページから確認することができます。右のQRコードをスマートフォン等で読み取ってもらえれば、トップページが開きます。

学校通信では2号にわたり、「そう思う」と「大体そう思う」の合計が80%以下だった項目のみを取り上げ、その改善策や学校等としての方針等をお伝えしていきます。



I 教育課程・学習指導

保護者：お子さんは「授業が分かりやすい」「授業が楽しい」と感じていると思いますか ……78.2%

学校現場では、「一斉型の講義を受けるだけの受動的な学び」から「能動的で他者と協働した学び」（主体的・対話的で深い学び）への転換が図られています。坂東小学校でも「つかむ（学主課題の把握）→自分で考える（課題追求）→みんなで考える（発表・比較・検討）→まとめる（まとめ・活用問題）」という形態（坂東スタイル）での授業実践を進めてきました。教師は校内研修や自己研修により、授業力向上や授業改善に努めており、児童の授業への満足度は高まっています。しかし、保護者は、さらなる質の向上を求めていることが分かります。学校は、学ぶことが「楽しい」と感じる児童がさらに増えるよう、魅力ある授業を今後も追求していきますので、保護者の皆様もお子さんとは「なぜ学ぶのか」「学ぶことの大切さ」について一緒に考える機会をつくってみてください。

児童：あなたは、家で進んで学習や読書をしていますか ……61.9%

保護者：お子さんには、家庭で進んで学習や読書をする習慣が身に付いていますか ……65.5%

学校では、家庭学習の習慣が確立できるように、宿題などの課題を出すだけでなく、子供たちが学びの楽しさや面白さを実感できる授業づくりに努めています。しかし、回答状況を見ると、学習習慣が身に付いていない児童が多く、保護者から見てもそのように感じる人が多いようです。学校は、家庭学習が習慣化されるように、何をどのように学習すれば良いかなど、具体的な指導を行っていきます。また、学習習慣の確立のためには、ご家庭の協力や、保護者からお子さんへの働きかけが不可欠です。学習環境を整えていただくとともに、保護者の皆様もお子さんと一緒に、「なぜ学ぶのか」「学ぶことの大切さ」について一緒に考え、話し合う機会をつくってみてください。小学校段階では、保護者が子供の学習に積極的に関わることが学習意欲の向上につながりますので、ご協力をお願いします。

II 生徒指導

保護者：お子さんは、進んであいさつをしたり、場や相手に応じた言葉をつかたりしていますか ……77.7%

「あいさつ・返事」ができ、場をわきまえた行動が取れる子供の育成は、学校の重点目標の一つでもあります。特に「あいさつ」は、人間関係づくりの基本であると考え、学校長からも集会等の場で繰り返しその大切さを伝えてきました。また、学級委員が中心となり、毎朝の「あいさつ運動」を継続して行ってきました。あいさつができる児童は着実に増えてきていますが、保護者からは見ると、言葉遣い等も含め、物足りなさを感じてしまうようです。あいさつや返事、言葉遣い等については、ご家庭の姿勢が重要です。日常的にあいさつや返事が交わされる環境づくりに努めるとともに、思いやりをもって人と接することの大切さについて一緒に考える機会をつくっててください。